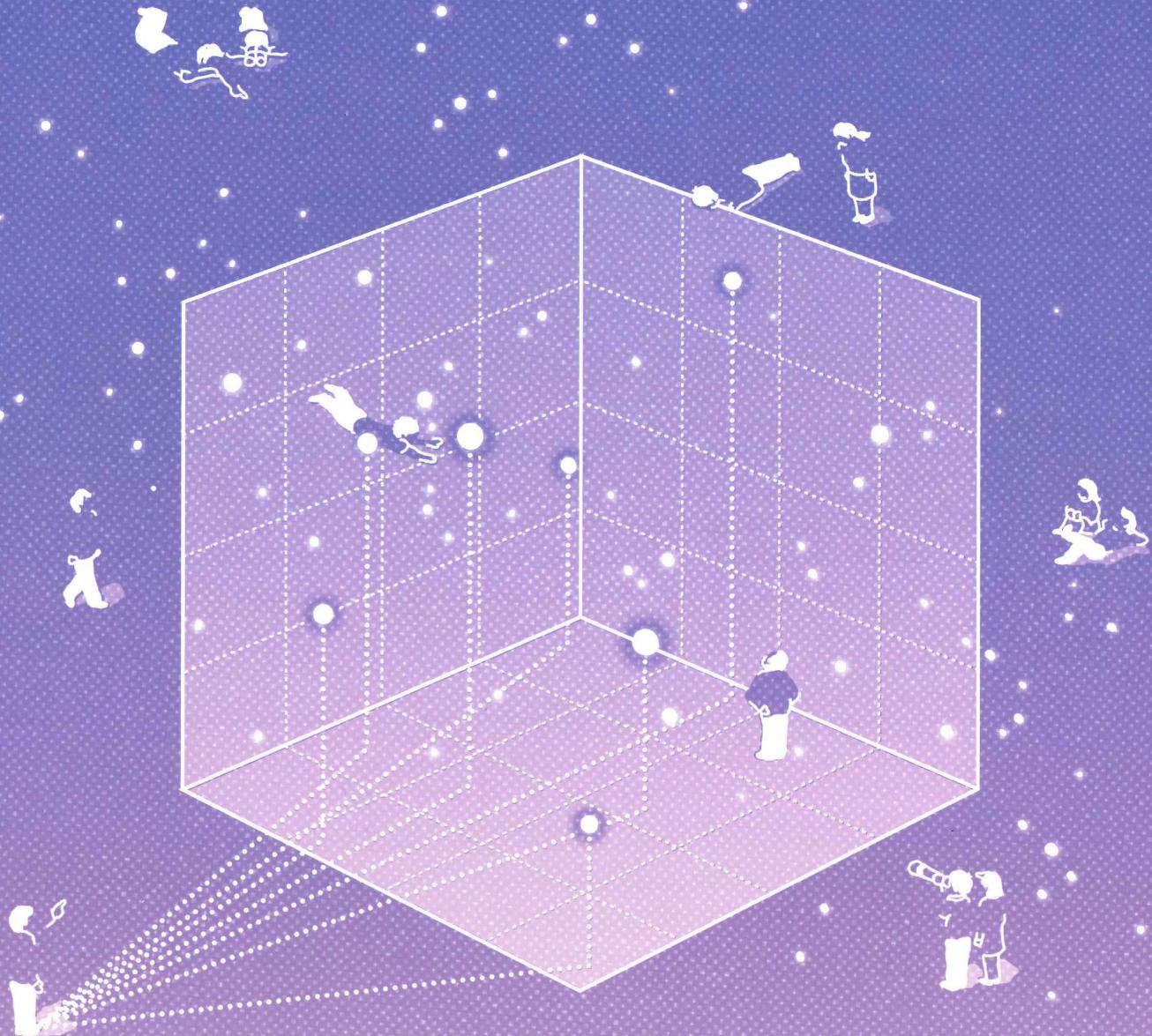


Open Diagram



2016 2月10日(水) – 21日(日) 会場 | 元崇仁小学校

12:00–19:00 (18:30 最終入場) ※15日(月)は休館日

出展作家 | 今尾拓真 熊野陽平 黒木結 寺嶋剣吾 南條沙歩 山田毅

企画構成 | 本田耕人 田川莉那 デザイン | 橋本隆史

主催 | 京都市立芸術大学 (京都市立芸術大学移転プレ事業)

企画 | Open Diagram 実行委員会

協力 | 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts
@KCUA

Open Diagram

「Open Diagram」は、京都市立芸術大学の学生が企画、運営する展覧会です。本展のテーマは「異なる事象との距離（関係）をはかること」です。

現在、京都市立芸術大学は約10年後に京都駅の東側、崇仁地域に移転することが決定しています。同地域にある元崇仁小学校を会場とした展覧会の実現に向けて、メンバーは互いの距離を見つめるための地図としてダイアグラム（関係図）を作成しました。

個々のつながりを描き出す作業は、メンバー同士の距離だけでなく、地域との距離、美術と社会との距離など、さらに様々なものと自分たちとの関係性を考えるきっかけとなりました。

作家たちは、そこからはじまるそれぞれの表現によって新たなダイアグラムを描き、関係性を広げます。

出展作家

《work with #1(大学会館ホール空調設備)》2015年



《work with #2(旧日本銀行広島支店空調設備)》2015年
Photo by kazuki yoshimoto



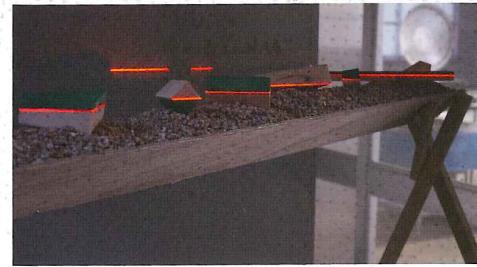
1992年京都府生まれ。様々な場所で既存の設備や空間に介入し、環境を一時的に作り変える作品を発表している。本展でも元崇仁小学校校舎の一定区域の環境を扱った作品を発表する。

今尾拓真

《A hole in the world》2015年



《人工的な輪郭線》2015年



1986年京都府生まれ。普段の食事や通学時の光景など、身近な出来事を題材にボードゲームを考案・制作し、それを自ら遊んだり、他の人たちに遊んでもらうことによって「運命」について考える作品を制作している。本展では、元崇仁小学校の建物と立地を活かし、複数のボードゲーム作品とそのプレイドキュメントなどを展示する。

熊野陽平

《小さなデモ行進に参加するためのスコア》2015年



《愛と制度のためのドローイング》2015年



● 黒木結

1991年大阪府生まれ。日常における「違和感」への向き合い方を模索しながら作品制作に取り組む。本展では、「同じ町を歩いていても自分と友人とでは見るものも持つ感想も違う」ということに着目し、黒木自身が見ている「町」を、それとはちがう見方をする人と共有するための作品を制作する。

《犬の庭》2016年



《微熱》2014年



● 南條沙歩

1989年岐阜県生まれ。身体感覚を意識させるような断片的な記憶と気配の描写、また現実的な時間と内的な時間の屈折や重なりを表現することを試みた手描きアニメーション作品を制作している。本展では童話「赤ずきん」をモチーフに、ひとりの女の愛と、その先にある幸福を描いた新作アニメーションを展示上映する。

《1031》2015年



《kind mass》2015年



● 寺嶋剣吾

1988年福井県生まれ。「無縁であるもの」を私自身の身体によって結びつけること、又は結びつけようと努力する事で、ドラマツルギーに関する作品を制作している。本展では、移動する人間と固定化された場所との関係を映像化し発表する。

《HAPSのかべ》2014年



《つくりたてのカオス》2011年



● 山田毅

1981年東京都生まれ。身の回りの生活や人、場所を観察し、そこから紡いだ物語を、映像や舞台など様々な形態で発表している。本展では、京都市立芸術大学の移転に伴う空間と時間の繋がりをテーマに作品を制作する。



